

令和2年度

事業報告書

社会福祉法人 南陽恵和会

# 目 次

1	令和2年度事業総括	1
2	法人事業概要	3
3	理事会・監事会・評議員会開催状況	4
4	会議・委員会開催状況	5
5	職員状況	6
6	職員研修等状況	7
7	苦情受付と対応	8
8	特別養護老人ホームこぶし荘	9
	(1) 介護課	
	(2) 医務課	
	(3) 給食課	
	(4) 総務課、事務人事課	
	(5) 業務課	
9	こぶし荘ショートステイ	21
10	こぶし荘デイサービスセンター	23
11	こぶし荘在宅介護支援センター	27
12	こぶし荘認知症高齢者グループホームこぶしの家	30
13	養護老人ホーム南陽やすらぎ荘	34

## 1. 令和2年度事業総括

令和2年度は、置賜広域行政事務組合の委託事業として、4月から南陽やすらぎ荘の指定管理運営が開始の運びとなり、法人本部組織の強化と経営改善計画実施の重要な年度となりました。これに伴い、複数施設を統括する法人本部の役割を明確化するとともに、専任の法人事務局長を配置し、事業計画の達成と組織体制の強化に努めました。

前年度は、介護サービス利用実績において、施設サービスは入院者・空きベッドが大幅に増加し、また、居宅サービスの利用が伸びず、当初予算を下回ったことから、令和2年度は、経営改善計画に基づき、入所契約の一部見直し（ベッド確保料の設定等）、入院者減少への取り組み、居宅サービス事業の強化、ショートステイベッドの有効利用に向けた取り組みを行い、一定程度の成果を上げることができました。

ショートステイベッド利用については、近年の小規模多機能施設の宿泊形態の増加や市内施設のショートステイベッド数の過剰状況にある等、当施設ショートステイベッドの利用率低下にも少なからず影響があり有効に活用されていない状況がありました。今年度、第8期（令和3年度～令和5年度）南陽市高齢者福祉計画・介護保険事業計画の策定が行われ、南陽市においては、在宅サービス利用が徐々に増加しているものの、施設サービス指向は高く、依然として施設入所待機者が100人以上となっていることから、令和3年度からこぶし荘のショートステイ8床のうち6床を入所ベッドに転換することで、ショートステイベッドの有効利用を図ることとなりました。その他具体的な今年度の介護サービス利用実績は、別紙「令和2年度決算の概要」のとおりです。

介護体制の充実については、入所者の高齢化に伴うリスクマネジメント、介護人材の不足、介護報酬改定の影響など、介護を取り巻く厳しい現状の中、直接介護部門の業務連携の強化や棟ごとケアにおける業務連携の検討等、各部署間のコミュニケーションを図り、よりよいケアの推進に努めました。

また、今年度も利用者の処遇及び職員の接遇の観点から、日常業務をふり返り、よりよいケアの構築のため、利用者家族にアンケートを実施しました。結果をまとめ、日課検討委員会の中で改善点に対しては改善策を実施に向け進めています。

人材育成・定着については、自ら成長する意識、職員全員で新人職員を育てる目的で人材プロジェクトチームを継続し、プリセプター制度による新人職員教育・育成体制の確立に努めました。今後、限られた人員体制の中での指導の工夫や指導内容・指導計画の更なる検討、指導側（チューター）の研修の実施等、教育・育成体制に努めていきます。

処遇改善とキャリアアップ制度の充実については、「介護職員処遇改善加算」と「介護職員等特定処遇改善加算」を継続取得し、加算を活用した介護職員等の処遇充実と全職員対象のキャリアアップ制度の充実推進に努めました。

また、介護福祉士等の職能資格等の取得を推進し、助成金を活用した取得支援に取り組み、今年度、介護職員2名が介護福祉士試験に合格することができました。

入所者の高齢化・重度化が年々進行し、昨年度は入院数が多く、その期間が長期にわたる状況があったことから、昨年度から引き続き入所者の健康管理の一環として、口腔ケア推進に取り組み、グループホームは、本人家族の理解のもと口腔衛生管理体制加算の取得に至りました。

さらに、今年度末、念願の機能訓練指導員の応募があり、令和3年度に向け2名を採用することができました。今後、個別及び集団機能訓練指導等による入所者の日常生活動作の改善・向上を多職種協働で進めることで、心身の安定が図られ生活が潤い健康維持にも繋がるものと考えます。

近年、豪雨等の自然災害に見舞われる地域が毎年のようにあり、日本各地で被災しています。7月豪雨で被災した熊本県においては、夜間の避難の際に犠牲者が発生した施設がありました。当施設事業所においても7月28日梅雨前線に伴う大雨のため被害が発生しました。こぶし荘及びデイサービスセンター、南棟避難道路脇の水路から水があふれだし一部冠水、さらには、砂防ダムまでの道路から大量の雨水が流れ水路の法面が削られる等しました。市からは、この被害に関連する施設への雨水の流水を防ぐため市道北山線の上流部から水路の分水を行い、こぶし荘側上部の水量を抑制する工事を令和2年度から令和4年度を予定期間として開始となりました。

県からは、「高齢者福祉施設等における避難確保計画による非常災害時の体制整備の強化・徹底について」の通達があり、当法人の避難確保計画の見直し・徹底を図るとともに、南陽市はじめ、老施協防災ネットワークや山形県災害福祉支援ネットワーク等の関係機関の連携を図りながら、防災対策の検討を重ねていきます。

感染症に関しては、施設事業所内において、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症が蔓延するということがなく終わりましたが、昨年度から全国で感染が拡大している新型コロナウイルス感染症は、令和2年度に入っても猛威を振るい、南陽市および周辺地域においても常に予断を許さない状況が続きました。

今年度、感染症・食中毒予防蔓延対策委員会が中心となり、新型コロナウイルス感染症マニュアルを作成、施設内感染者が出た場合のシミュレーションをマニュアルに沿って実施をしながら日々感染予防対策を講じています。

今後、新しい生活様式の中で、家族や地域とのつながりをいかに持ち、入居者の生活に潤い・楽しみが持てるような日常を構築していくかが求められる時と考えます。また、日々「命を守る」使命を担う職員の心身の負担も増大しており、職員の処遇の改善にも努めていかなければならないと考えます。

来年度には、いよいよ新型コロナウイルスワクチン接種が開始されます。入居者・職員が滞りなくワクチン接種ができるように努めるとともに、引き続き、施設運営会議をはじめ、感染症・食中毒予防蔓延対策委員会、安全衛生委員会、給食委員会等と連携協働し、危機管理に努めていきます。

令和3年度は、3年ごとの介護報酬改定と第8期介護保険事業計画が開始される年でもあります。新たな改定内容を確認・検討し、経営安定に取り組むとともに、日々の生活を見直し、よりよいケアの実践に職員一丸となって取り組んでまいります。

## 2. 法人事業概要

- (1) 法人名 社会福祉法人 南陽恵和会  
 (2) 所在地 山形県南陽市川樋508番地  
 (3) 設立年月日 昭和63年5月17日  
 (4) 法人事業

### 第一種社会福祉事業

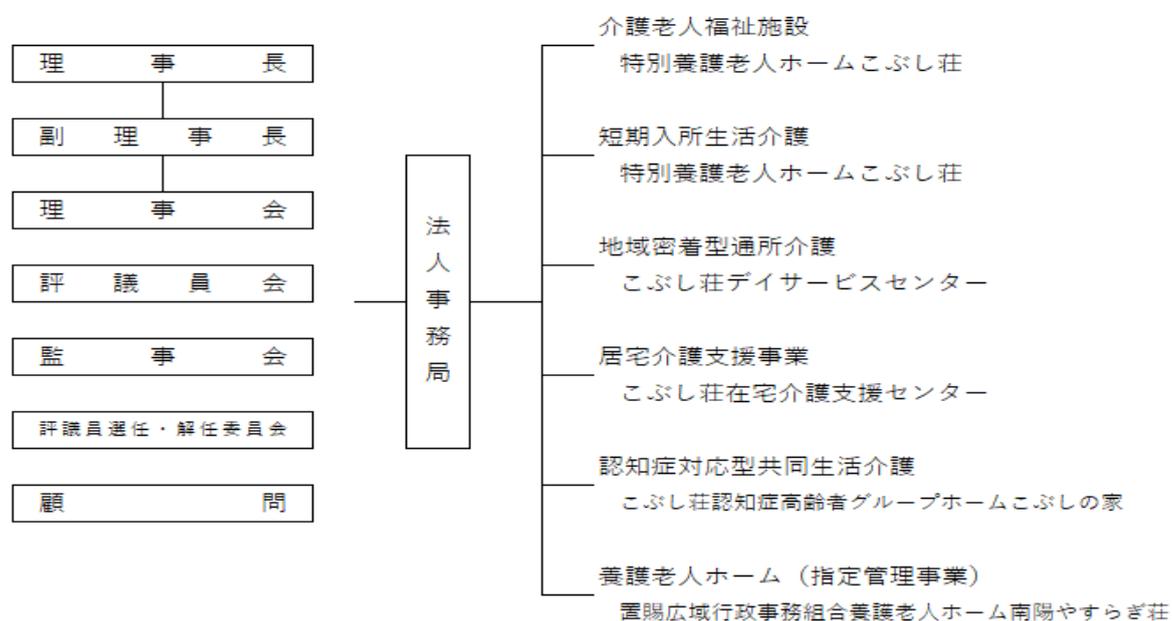
事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
介護老人福祉施設 (居宅介護支援事業)	特別養護老人ホームこぶし荘 (こぶし荘在宅介護支援センター)	110名	平成元年4月1日 ※R1.5.1 110名に増床 (平成5年4月1日)
養護老人ホーム	置賜広域行政事務組合 養護老人ホーム南陽やすらぎ荘	70名	令和2年4月1日指定 管理開始

### 第二種社会福祉事業

事業種別	施設名	定員	事業開始年月日
短期入所生活介護	こぶし荘ショートステイ	8名	平成元年4月1日
通所介護	こぶし荘デイサービスセンター	18名	平成5年4月1日
認知症対応型 共同生活介護	こぶし荘認知症高齢者 グループホームこぶしの家	9名	平成14年3月1日

### (5) 組織図

#### 社会福祉法人南陽恵和会



### 3. 理事会・監事会・評議員会開催状況

(1) 役員  
         理事          8名（定数 8名）  
         監事          2名（定数 2名）  
         顧問         1名（定数 1名）

(2) 評議員                  9名（定数 9名）  
     評議員選任委員      3名（定数 3名）

#### (3) 理事会開催状況

開催日	決議事項	出席者／定数		
		理事	監事	顧問
令和2年6月11日	令和2年度 第1回定例理事会 ・事業報告案、決算報告書案並びに監査報告 他	8/8	2/2	1
令和2年9月24日	令和2年度 第2回定例理事会 ・第1次収支補正予算案 他	7/8	2/2	0
令和2年12月17日	令和2年度 第3回定例理事会 ・定款の一部変更、車両リース購入 他	8/8	2/2	0
令和3年3月25日	令和元年度 第4回定例理事会 ・令和2年度事業計画案、当初予算案 他  ※ 新型コロナウイルス感染防止のため書面による開催並びに決議とした	8/8	2/2	1

#### (4) 監事会開催状況

開催日	決議事項	出席者／定数
		監事
令和2年5月31日	令和2年度 第1回定例監事会(業務執行監査) ・監査の所見は「決算報告書」に添付	2/2

#### (5) 評議員会開催状況

開催日	決議事項	出席者／定数	
		評議員	役員
令和2年6月25日	令和2年度定時評議員会 ・決算報告書案並びに監査報告 他	9/9	10/11
令和2年6月25日	令和2年度臨時評議員会 ・定款の一部変更について	9/9	—

## 4. 会議・委員会開催状況

### (1) 施設運営会議

開催時期	開催回数	内 容
4月～3月	12回	事業計画の進捗確認と検証、目標達成のための協議検討

### (2) リスク対策委員会

委員会名	開催回数	内 容
入所選定委員会	6回	次期入所者の決定、調整
身体拘束廃止委員会	6回	身体拘束廃止への取り組み
事故発生防止委員会	6回	リスク対策と軽減
看取り介護委員会	6回	看取り介護サービスの充実
感染症・食中毒予防まん延防止対策委員会	6回	感染症・食中毒予防まん延防止対策
グループホーム重度化対応委員会	6回	GHにおける重度化対応と医療連携
褥瘡発生防止委員会	6回	褥瘡発生防止対策
安全衛生委員会	12回	労働災害防止、労働衛生管理
給食委員会	12回	利用者給食提供の充実
広報委員会	5回	広報誌発行、ホームページ更新等
防災対策委員会	6回	施設防災対策、防災訓練実施
研修・地域連携委員会	6回	施設内研修、地域貢献活動の企画
リハビリ委員会	3回	個別リハ、集団リハの充実
ショートステイ委員会	12回	ショート利用者のリスク軽減
看護介護協働委員会	1回	喀痰吸引制度の普及啓蒙

### (3) 特別委員会

会議名	開催回数	内 容
日課検討委員会	12回	棟毎ケアの検討・試行
秋祭り実行委員会	4回	こぶし荘秋祭りの企画実施
人材確保プロジェクトチーム	2回	人材育成の検討・福祉就職フェアへの参加

### (4) 職員会議

会議名	参加者	内 容
令和2年5月中	105名	令和2年度事業計画について 他 ※新型コロナウイルス感染予防対策として事業所・部署毎の分散開催とした

## 5. 職員状況

### (1) 職種別

令和3年3月31日現在

職名	事業所別						R2年度 採用者 数	R2年度 退職者 数
	こぶし 荘	デイ	グルー プ	支援	計	やすらぎ 荘		
施設長	1				1	1	1	0
事務職	2				2	2	2	1
管理者	【1】	【1】	【1】	【1】	0	0	0	0
生活相談員	2	1・【1】	-	-	3	3	2	2
介護支援専門員	【5】		【1】	2【1】	2	0	1	1
介護職員	53 (25)	4 (2)	7 (2)	-	64	14 (12)	23 (18)	6 (3)
看護職員	5 (1)			-	5	1 (1)	1 (1)	1
機能訓練指導員	-	-	-	-	-	-	0	0
管理栄養士	2		-	-	2	1 (1)	1 (1)	0
調理員	10 (6)		-	-	10	委託	1 (1)	0
業務員	2 (1)				2	1 (1)	1 (1)	0
洗濯員	7 (7)	-	-	-	7	委託	1 (1)	1 (1)
清掃員	3 (3)	-	-	-	3	委託	0	0
夜警員	4 (4)				4	委託	1 (1)	1 (1)
医師(嘱託)	2 (2)	-	-	-	2	1 (1)	1 (1)	0
実人員合計	93 (43)	5 (2)	7 (2)	2	107 (47)	24 (16)	-	-

※ ( ) 内は嘱託・準職員・パート職員、派遣職員【 】内は同一事業所内での兼務

※ 採用・退職者数に人事異動を含む

※ 実人員合計の内、他事業所を兼務する職員は本体施設でカウント

※ 本表は介護保険法に基づく配置基準を確認するための様式とは異なります

### (2) 年齢別

(平均/49.1歳)

区分	～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60歳～
男性	1	5	5	3	13	9
女性	1	6	12	21	27	22
計	2	11	17	24	40	31

### (3) 在職別

(平均/6.6年)

区分	0～5年	6～10年	11～15年	16～20年	21～25年	26～30年	31年～
男性	19	4	1	1	3	3	5
女性	47	7	7	7	1	11	9
計	66	11	8	8	4	14	14

## 6. 職員研修等状況

### (1) 職場内研修

開催日	研修内容	参加者数
	新型コロナウイルス感染症予防により開催中止	

[ ] は主催委員会

### (2) 外部研修

開催日	研修内容	出席者
令和2年7月	介護職のための接遇マナー研修	介護職 2名
	調理担当者研修	調理員 1名
令和2年8月	職場研修指導者研修	介護職 1名
	高齢者介護職員研修	介護職 1名
令和2年9月	新人職員研修	介護職 1名
	社会福祉専門講座	介護職 1名
	人材定着支援研修	介護職 1名
令和2年10月	リーダー研修	介護職 1名
令和2年11月	認知症介護基礎研修	介護職 1名
	ケアリーダー研修	介護職 1名
	社会福祉専門講座	介護職 1名

### (3) 社会・地域貢献活動

期日	項目	参加数 派遣数	活動内容
	中川地区花いっぱい運動（植栽）	—	衛生組合様と共同作業 ※新型コロナによりボランティア見合わせ
R2. 4. 26	清掃活動ボランティア	14名	地区内のゴミ拾い、掃き掃除
R2. 6～10月	中川地区花いっぱい運動	全職員	除草等の花壇管理
	いわぶの里夏祭り		開催中止
	中川地区文化祭準備手伝い		開催中止

### (4) 研修講師派遣・派遣協力

期日	研修名	団体等	派遣職員
R2. 8. 4	施設実習指導者講習	山形県介護福祉士会	佐々木利典

R2. 9. 28 他	2020 認知症介護オンライン セミナー	認知症介護研究・研修 仙台センター	〃
R2. 10. 2	介護福祉士基本研修	山形県介護福祉士会	〃
R2. 10. 14	技能実習指導員講習	山形県介護福祉士会	〃
R2. 10. 27 他	認知症介護実践者研修	山形県	〃
R2. 10. 29	介護労働講習	介護労働安定センター 山形支所	〃
R2. 11. 9	認知症介護基礎研修	山形県	〃
R2. 11. 13	認知症対応型サービス事業管理者 研修	山形県	〃
R2. 11. 19 他	授業講義	済生館看護学院	〃
R2. 11. 20	主任介護支援専門員更新研修	山形県	〃
R2. 11. 28	認知サポーター養成講座	県南ブロック郵便局長 会並びに婦人会	〃
R2. 12. 5 他	ファーストステップ研修	山形県介護福祉士会	〃
R2. 12. 10 他	認知症対応型サービス事業開設者 研修	山形県	〃

## 7. 苦情受付と対応

今年度の苦情受付はありません

## 8. 特別養護老人ホームこぶし荘

### ～ 介 護 係 ～

#### (1) サービス全般について

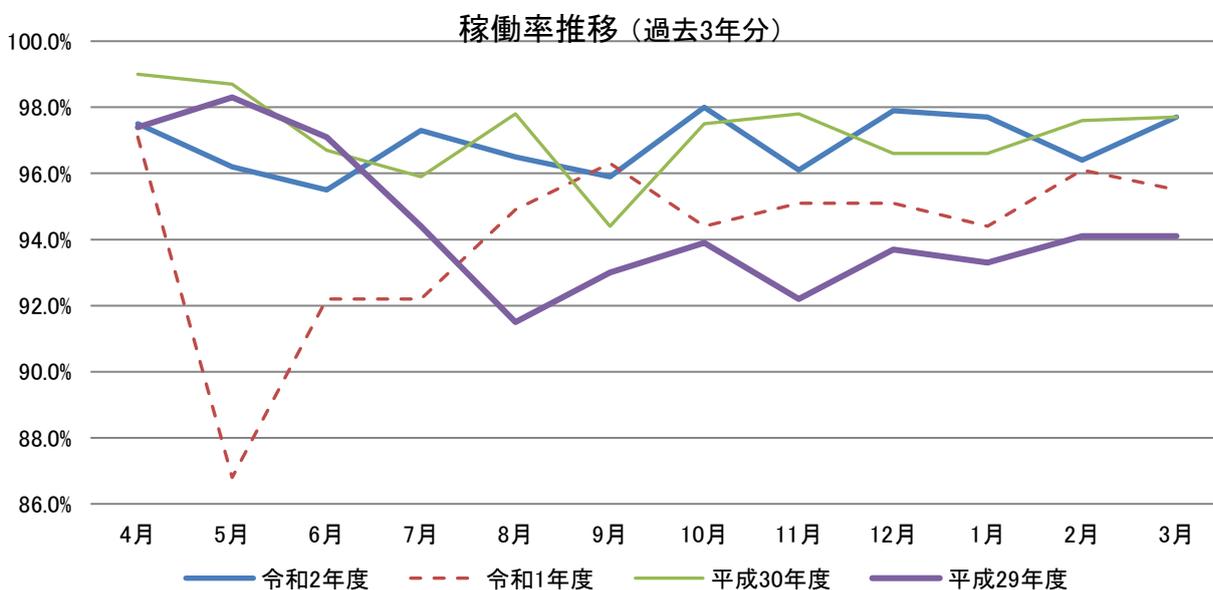
今年度は南棟増床に向けて、前年度から取り組んできた棟毎ケアの充実を図りより入居者の個別的なケアにむけ、一人ひとりの生活リズムを把握するために24時間シートを作成し食事、排泄、入浴状況等について統一したケアが行えるように取り組んだ。各ホールには入居者と一緒に壁画作成を行い、明るく楽しい環境づくりにも取り組んだ。現在取り組んでいる内容にも改善課題多く残されているが、入居者様の安心安全を基本に多職種連携を図り充実した介護に今後共取り組んでいく。

#### (2) 利用状況（令和3年3月31日現在）

##### ① 要介護度・月別

月 介護度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計	実人数
要介護1	144	124	120	124	124	90	93	90	93	93	76	93	1,264	3人
要介護2	251	279	270	279	279	300	310	300	310	279	252	297	3,406	10人
要介護3	606	642	601	669	628	694	833	755	765	752	703	793	8,441	26人
要介護4	1495	1559	1513	1596	1565	1416	1427	1345	1392	1421	1189	1311	17,229	45人
要介護5	720	678	648	651	696	664	608	680	779	785	749	838	8,568	24人
合計	3,216	3,282	3,152	3,319	3,292	3,164	3,343	3,170	3,339	3,330	2,969	3,332	38,908	108人
利用率	97.5	96.2	95.5	97.3	96.5	95.9	98.0	96.1	97.9	97.7	96.4	97.7	96.9	

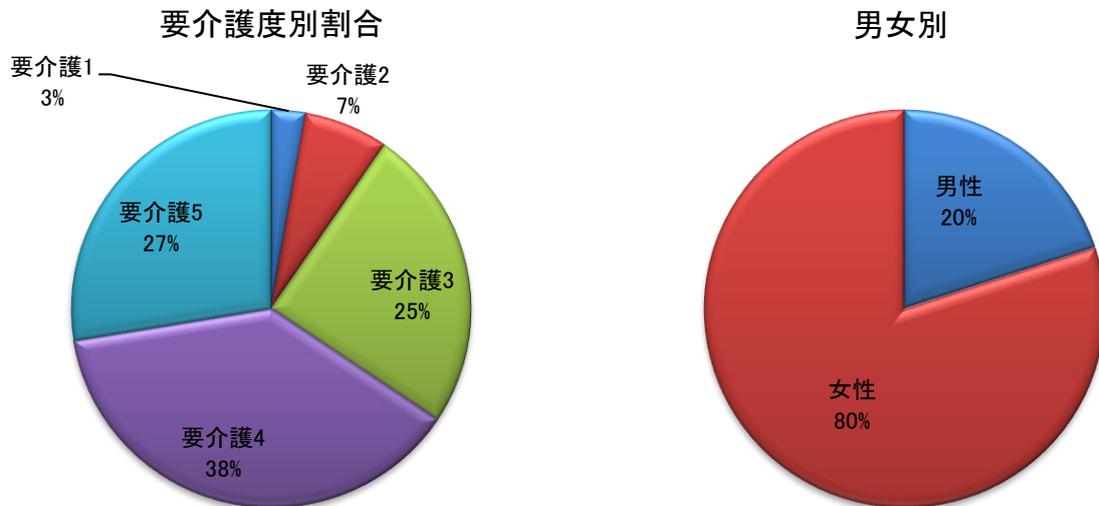
平均介護度 3.73（昨年度 3.81） ※ 平成31年度全国平均介護度（全老協統計）



② 男女別

実人数

男性	女性	計
23人	85人	108人



要介護3、4で認知症を根底に抱え、介助歩行の方が多く常に見守り介助を必要とする入居者が6割を超えている。更新認定調査後、要介護度の改善が図られているとの状況がみられ介護度が以前よりも低くなる方もわずかではあるが見られている事から、前年度より平均介護度が下がっている状況がある。

③ 市町村別

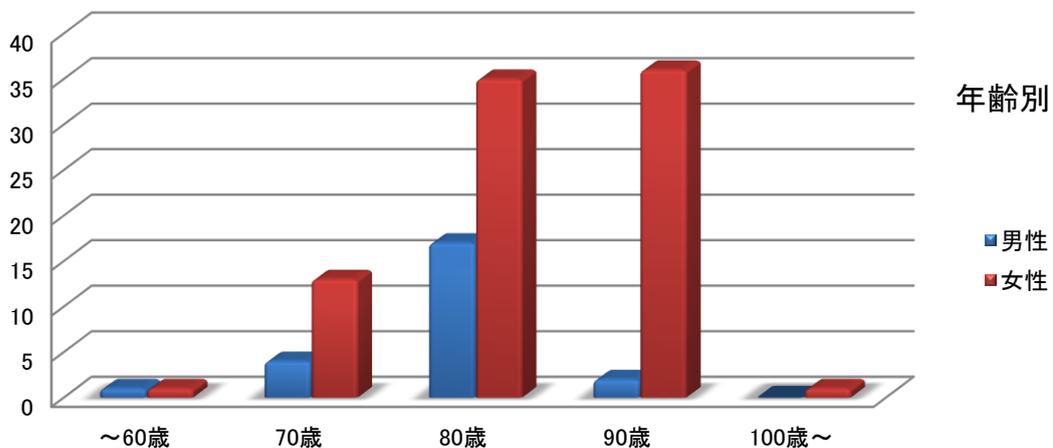
実人数

南陽市	米沢市	高畠町	川西町	その他	合計
91	3	10	3	1	108

④ 年齢別

実人数

区分	～60歳台	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	平均
男性	1	4	17	2	0	83.4歳
女性	1	13	35	36	1	88.0歳
計	2	17	52	38	1	85.7歳



現在の入所者の年齢構成は、80歳以上が82.7%を占めるが、ここ最近では60歳代、70歳代の方の入所や入所申込が増えてきた傾向にある。

## (3) 入退所の状況

実人数

区分	退 所 者				入所者
	死 亡	入院死亡	希望退所	計	南陽、高畠、米沢
男 性	2	3	1	6	5
女 性	13	5	0	18	18
計	15	8	1	24	23

死亡退所の内訳	施設内	入院先病院	退所後病院死亡	計
人 数	15	8	1	24
平均年齢	92.7	81.3	91	88.4

## (4) 日常生活の状況

実人数

区 分	歩 行				食 事			入 浴		排 泄	
	自立歩行	歩行介助	車いす使用	ベッド生活	自力摂取	一部介助	全部介助	自力浴	機械浴	自立・一部介助	オムツ使用者
実数	1	12	35	62	51	39	20	32	78	30	80

## (5) 認知症高齢者の状況

実人数

区 分	男性	女性	計
認知症日常生活自立度Ⅲ以上	19	72	91
(全体に占める割合)	17.2%	65.5%	82.7%

## (6) リハビリテーション

## ① リハビリ実施状況

項 目	実施日	月	火	水	木	金	計
個別リハビリ	週1回						
	週2回						
集団リハビリ	毎週火曜						

## ② リハビリの内容

項 目	リハビリの内容		
個別リハビリ	●歩行訓練（平行棒、歩行器、杖等）	●起き上がり訓練	●座位保持訓練
	●立ち上がり訓練	●筋力訓練	●移乗訓練
	●ROM-EX（関節稼働域訓練）	●ポジショニング	●作業活動
集団リハビリ	●歌体操	●脳トレーニング	●回想法 など

## ～ 医 務 係 ～

### (1) サービス全般について

入所者の心身の健康を維持し、日々の生活を安全で健やかに過ごせるよう、嘱託医との連携、身元引受人との情報共有により健康管理に努めた。生活面では、多職種との連携を図りながら生活レベルの低下防止に取り組んだ。

### (2) 医 療

#### ① 嘱託医の診療

嘱託医	診療科目	診療日
柏倉 祐司 嘱託医	内 科	毎週金曜日
川合 厚子 嘱託医	内 科	毎週木曜日 R2.10.1 契約開始～R2.1.31 契約終了
佐藤 忠宏 嘱託医	精神科	毎月第3木曜日
川合 厚子 医師	内 科	オンコール対応
佐藤 有弘 歯科医	歯 科	随時回診
阿部 友宏 歯科医	歯 科	随時回診

柏倉嘱託医・門脇嘱託医による日常的な診療のほか、個人の状態に応じた必要な処置と、専門医への通院診療が行われた。

認知症疾患に関しては、佐藤嘱託医による定期診療と、また先生指導による処遇に関する施設内研究など、専門的かつ積極的な取り組みがなされた。

オンコール体制は、川合厚子先生・柏倉祐司先生で日々の診療体制を取っている。

歯科診療については、佐藤有弘歯科医、阿部友宏歯科医の往診治療、口腔衛生指導により、多くの入居者の口腔衛生が保たれ、入所者と家族から好評を得た。

#### ② 感染症等対策

項 目	人数	実施時期
胸部エックス線検査	56名	令和2年9月7日～14日
インフルエンザワクチン	109名	令和2年10月15日
肺炎球菌ワクチン	19名	令和2年12月28日

- ・弱酸性次亜塩素酸水、アルコール消毒による日常的な衛生管理や清掃を実施
- ・レジオネラ菌対策～浴槽の清掃、消毒薬の使用、水質検査などを実施
- ・ノロウイルス等対策～うがい、手洗いの徹底、次亜塩素酸ナトリウムによる消毒（週1回及び随時）
- ・風邪など感染症予防のため、出退勤及び面会時うがい、マスク着用、手指の消毒を実施

### (3) 入院・退院

入院者	退院者	入院中死亡者	継続入院者	長期入院による契約終了	その他
37名	26名	8名	2名	1名	0名

※入院者には、同一利用者の複数回入院が含まれます

## 入院者内訳

公立置賜南陽病院	公立置賜総合病院	佐藤病院	公立高畠病院	米沢市立病院
0名	9名	12名	16名	0名

## (4) 健康調査

入居者の健康管理上、健康状態の把握が重要なため毎月健康調査を行った

- ・日常的な健康チェック
- ・毎月定期的に血圧、体重測定を行って健康状態を確認
- ・年1回定期的に血液検査を実施した。また、体調不良時など随時、嘱託医の指示のもと、血液・尿等の検査を行い、健康管理に心掛けた。
- ・全入居者を対象に佐藤病院の協力を得て胸部レントゲン撮影を行った。受検者50人

## (5) 職員の健康管理

項目	実施時期	受検者数	対象者
春季健康診断	4月	92名	全職員（健康保険未加入者除く）
秋季健康診断	10月～12月	49名	夜勤職員及びパート職員
インフルエンザワクチン	11～1月	114名	全職員
ストレスチェック	8月～11月	122名	全職員

春・秋の定期健康診断を実施し、その結果に基づき川合産業医の指導を得ながら職員の健康保持に努めた。要精検者に受診勧奨し職員の健康管理を行った。

コロナ禍のため、講師を迎えての健康講座はできなかったが、Webサイトの健康講話の資料を配布した。

毎月の安全衛生会議において、新型コロナウイルス感染症の情報・予防・対策等を話し合い、確認・周知をした。

また、各事業所の安全点検を実施し、安全で快適な職場づくりを目指した。

## ～ 給 食 係 ～

### (1) サービス全般について

- [1] 大量調理マニュアルに沿った衛生管理の徹底、また業務の見直しを行いながら 安心、安全に給食提供に努めた。栄養面においては食事摂取基準を参考に給食管理を行い、栄養マネジメントにて個々の栄養状態の維持、改善、悪化予防に努めた。
- [2] 食べる楽しみについて、今年度は「麺の日」を設け、麺類を好む入居者の楽しみとなるよう月1回提供した。入居者より「おいしかった」の言葉多く頂戴した。麺の日の継続と献立の充実ができるよう継続して対応していく。
- [3] 低栄養の予防・改善を図り利用者の生活の質を高めるため、食事形態においては刻み食に対して、食べやすく飲み込みやすいムース食を取り入れて、より安全、安心に食べていただけるように努めた。又、最後まで食べる楽しみを支援するため、看取り介護者へは最期まで口から食べる支援を行った。
- [4] 新規採用職員の教育、指導については、1年経過したが引き続き、教育、指導の継続が必要。

#### ① 適時適温食事

朝 食	昼 食	夕 食
7 : 50～	11 : 50～	17 : 20～

温冷配膳車導入により、適切な温度帯により、食事のおいしさ、食中毒細菌増殖温度帯の回避、異物混入防止など、安全でおいしい食事提供の実現。

#### ② 栄養ケアマネジメント

多職種協働による栄養ケアマネジメント体制で入居者全員を対象とし栄養状態の維持、改善を図った。おひとりおひとりに合わせた栄養ケア計画を作成し、家族に説明し同意を得て実施した。また定期的にモニタリング、評価し、作成した計画について見直しを行った。計画の変更があった場合は、その都度同意を得ているが、未実施もあったためすみやかな変更と同意に努めた。看取り介護の方も常に 10 名前後居られた。また食事量の減少者などおり、随時食事内容の検討を行い対応した。

項 目	単 位	栄養摂取量基準値 (令和2年度)	一日平均摂取量 普通食	一日平均摂取量 粥 食
熱 量	kcal	1579	1522	1309
蛋 白 質	g	52.3	55.2	49.6
脂 質	g	42.3	37.9	37.2
カルシウム	mg	661	703	697
鉄	mg	6.2	10.5	9.9
レチノール活性当量	μg	683	408	412
ビタ ミ ン B1	mg	0.84	0.92	0.86
ビタ ミ ン B2	mg	0.95	0.94	0.90
ビタ ミ ン C	mg	100	76	76
塩 分	g	7.2	9.2	9.2

※ 日本人の食事摂取基準(2020年版)の数値を献立作成に用いながら栄養アセスメントで算出した個々人の必要量の充足に努めた。(上記表はその平均)

### ③ 給食費

年間食数	一日平均単価／人
120,596 食	729 円

※ 重度化による食形態が小刻み食・ミキサーの方が全体の7割程度占める。それに伴いトロミ剤使用者が増加。前年度は調理員の人員減等の理由より給食費が高値になったが、R2年度は予算内での給食運営を行うよう努力した。4、5月は新規採用職員の教育指導を並行しながらの食事提供となったため調理済品等の活用もあり高値となった。更に自然災害による野菜の高値、コロナ禍での備えなど様々な想定を行わねばならぬ中、冷凍野菜の使用や日曜日おやつ菓子や安価な商品も取り入れるなどの工夫をしたことで、予算内での運営を実施できた。価格重視だけではなく、おいしく食べて頂けるよう献立のバリエーション、麺の日などを行うなどの工夫し楽しみをもてる給食提供を実施した。今後もニーズに応じた対応を努力していく。

### (2) 行事食

- ① 毎月の誕生日会～コロナ禍により例年と違った対応をとり祝福の継続を行った。誕生日当日には一人一人のご希望を伺い給食課で準備し、各棟の介護職員が入居者の祝福をした。  
誕生日会食では季節感や豪華さを意識し、お祝い膳にふさわしい献立を提供し入居者に喜ばれた。
- ② 正月、ひな祭り、お彼岸、クリスマスなどに季節感あふれる行事食を提供した。  
季節感を大切に食事や伝統的な行事食などを通し、外出が思うようにできない入居者の方に四季を感じて頂くことが重要な役割だと思い、対応した。今後はさらに内容の充実を図っていく。  
※行事食内容は、(資料1)のとおり

### (3) 衛生管理について

大量調理マニュアルに添った衛生管理に努めた。厨房は清潔区域・汚染区域に分かれたことで衛生面に配慮された環境下、また毎日の清掃消毒、衛生管理の継続をおこない、安心安全な食事提供を行った。R2年に入り全国的な新型コロナウイルスの感染拡大や県内での感染も危惧される中、職員の体調管理の徹底、感染防止対策の継続に努めた。また備蓄食品等の確保にも努めた。整備をさらに進めていく必要がある。

## (資料1)

## 令和2年度行事と行事食

月	日	行事内容	行事食
4月	23日	誕生会	ちらし寿司、みそ汁、莖立お浸し、さわら西京焼き、フルーツポンチ
5月	18・19日	麺の日	(温) かけうどん
	30日	誕生会	筍ご飯、清汁、かつおたたき、わらびの煮物、いちごプリン
6月	15・16日	麺の日	(冷) 冷や麦
	25日	誕生会	梅しそご飯、みそ汁、天ぷら、蒸し野菜みそかけ、もずく、溶けないアイス
7月	15・16日	麺の日	(冷) ざるそば
	30日	誕生会	枝豆ごはん、清汁、金目鯛煮つけ、冷たい茶碗蒸し、抹茶水ようかん
8月	19・20日	麺の日	(冷) ざる中華
	27日	誕生会	ゆかりご飯、清汁、ぶり照り焼き、白和え、もずく、メロン
9月	3・4日	麺の日	(冷) 冷や麦
	15日	敬老会	赤飯、清汁、刺身、炊合せ、紅白なます、プリン (祝い菓子：上生菓子)
	24日	秋彼岸 (誕生会)	おはぎ4種、牛乳、小松菜煮びたし、ゼリー
10月	19・20日	麺の日	(温) かけうどん
	29日	誕生会	栗ご飯、芋煮、ほうれん草白和え、ぶどうゼリー
11月	16・17日	麺の日	(温) そうめん
	29日	誕生会	松茸ご飯、清汁、刺身盛合わせ、ほうれん草浸し、いもようかん
12月	21日	冬至	冬至南瓜
	24日	誕生会	ゆかりごはん、みそ汁、刺身盛合わせ、茶碗蒸し、ラフランス
	25日	クリスマス会	ご飯、煮込みハンバーグ、かぶスープ煮、ゼリー
	31日	麺の日	年越しそば
1月	1～3日	おせち料理	赤飯、伊達巻卵、いか数の子、棒だら煮、冷汁、炒り鶏、鶏の松風焼き、黒豆、昆布巻き、たいだいムース、紅白なます、きんとん、ぶり照り焼き、ぎんたら煮、とろろ
	20, 21日	麺の日	(温) かけうどん
	28日	誕生会	鶏飯、みそ汁、刺身盛合せ、冷汁、ゼリー
2月	2日	節分の日	ちらし寿司、清汁、刺身盛合わせ、五目豆、きなこプリン
	18, 19日	麺の日	(温) 煮込みそうめん
	25日	誕生会	五目ご飯、みそ汁、刺身盛合せ、里芋ごま煮、いちごプリン
3月	3日	ひな祭り	ちらし寿司、けんちん汁風煮、菜の花辛子和え、桃のフルーチェ
	8, 9日	麺の日	(温) かけそば
	18日	春の彼岸	ぼたもち4種、豚汁風煮、みかん缶、ヨーグルト
	25日	誕生会	ちらし寿司、清汁、刺身盛合わせ、高野豆腐サンド煮、抹茶水ようかん

※毎月10日はカレーの日

※DSCも毎月1回麺の日実施

## ～ 総務課・事務人事課 ～

事業計画の達成と安定した運営を図るため、社会的動向や介護保険を取り巻く情勢の変化に注視し、情報の収集と理事会・評議員会への報告・提案に努めた。

「南陽やすらぎ荘の指定管理者受託」については、これまで置賜広域行政事務組合様と連携しながら準備を行ってきたが、いよいよ本年4月から運営開始の運びとなった。運営についてはこれまでの利用者本位の支援提供に加え、民間法人運営のメリット生かした人的交流の推進、運営の相互協力によりトータルコストの削減とより質の高い支援提供に努めた。

「ショートステイの特養転換」については、令和2年6月に南陽市長に特養転換の要望書を提出して以来、その必要性を広くご理解いただくべく介護保険策定委員会等において説明に努めた。R3.3月、南陽市長からその必要性をご理解いただくとともに、山形県知事に申請、結果、令和3年5月から特養転換の認可を得るに至った。

人材確保と育成・定着については、今年度はコロナ禍により限られたなかでの活動ではあったが「福祉就職フェア」等に参加しこぶし荘の魅力発信を行いながら求人活動を実施した。

令和2年度の採用者32名、うち3名は学卒で採用できたことは大きな成果であった。また、プリセプター制度により新人教育・育成に努めた。さらに今年度から南陽やすらぎ荘の運営委託が始まり、南陽やすらぎ荘職員と連携を取りながら円滑な業務が出来るよう努めた。

次年度の体制づくりについては、人事異動内示を出来る限り早期に行い、各部署の現地研修をとおして新年度の体制づくりに努めた。

新規採用者には、法人概要や基本理念・各担当課長によるオリエンテーションを実施し、新しい環境に適応できるよう実施した。

### (1) 監査等

項 目	実施機関	実施日	主な内容
介護保険施設等集団指導	山形県	R1. 7. 10	令和元年度の指導・監査、法令遵守、基準報酬 等
介護保険施設等実地指導（グループホーム）	南陽市	R2. 10. 1	結果：概ね良好
介護保険施設等実地指導（特養、短期）	山形県	R2. 11. 6	入浴の頻度が週2回に満たない場合があるので適切に実施すること
監事監査（事業・会計監査）	監 事	R2. 5. 31	指摘事項： 特になし
外部評価（対象：グループホーム）	オールインワン	R3. 3. 5	指摘事項： 特になし

### (2) 情報公開

項 目	公開先	内 容
財務諸表等電子開示システム	ワムネット（W e b）	現況報告書、財務諸表 等
介護サービス情報公表	山形県（W e b）	事業所の介護サービス情報全般
山形県医療機関情報ネットワークシステム	山形県（W e b）	施設内診療所（医務室）と嘱託医情報
情報開示資料（閲覧）	法人事務所	事業計画、事業報告、決算書、監事意見書 等
法人ホームページ	W e b	定款、事業計画、事業報告、決算書、現況報告書、利用料金表、求人情報 等

法人広報誌（市内全戸回覧）	市民・関係機関	施設の状況、決算状況 等
---------------	---------	--------------

### （３）諸規定整備

規定名	規定番号	変更内容
旅費細則	(法人細則第3号)	私用車使用における実費精算単価の変更
経理規程	(法人規程第1号)	やすらぎ荘拠点区分の追加、会計統括責任者の追加、勘定科目の追加
文書取扱基準	(法人基準第1号)	評議員会議事録及び議案書の追加
公印管理基準	(法人基準第2号)	やすらぎ荘公印の追加
被服貸与基準	(法人基準第3号)	やすらぎ荘職員ユニホームの追加
慶弔基準	(法人基準第4号)	やすらぎ荘利用者、職員の確認
夏季休暇付与基準	(法人基準第8号)	夏季休暇付与基準の廃止
年末年始休暇付与基準	(法人基準第9号)	12/29日の休暇の廃止
苦情解決基準	(法人基準第10号)	やすらぎ荘は別に定める旨の追加
臨時職員給与支給基準	(法人基準第15号)	やすらぎ荘職員給与の追加
臨時職員取扱規程	(こぶし荘規程第1号)	やすらぎ荘職員給与の追加
こぶし荘消防防災計画	(こぶし荘細則第1号)	やすらぎ荘の位置づけ、別に定める旨の追加
嘱託医等の報酬支給細則	(こぶし荘細則第3号)	やすらぎ荘嘱託医の追加

### （４）人材育成・確保

- ① 近年参加している「施設見学会」や「福祉就職フェア」については、今年度はコロナ禍により限られたなかでの参加ではあったが、こぶし荘の魅力発信を行いながら、求人活動を実施した。
- ② 新規採用者にプリセプター制度による新人教育を実施し、採用者の教育・育成に取り組んだ。
- ③ 入職時のオリエンテーションを実施し、法人理念・基本方針等、さらに介護サービスについての基本研修や認知症サポーター養成講座を行い、法人全体への理解を図った。
- ④ 南陽やすらぎ荘運営委託における人事関係では、南陽やすらぎ荘事務員の育成については日時・月次確認を行いながら、円滑な運営事務を行えるよう実施した。
- ⑤ 令和3年度に向けた人員確保については、看護師・機能訓練指導員の専門職の採用とこぶし荘事務員の採用を行った。
- ⑥ 職員研修についてはP7参照

### （５）表 彰

機 関 名	人 数
全国老人福祉施設協議会（勤続15年）	1名
全国老人福祉施設協議会（勤続20年）	1名
山形県社会福祉法人経営者協議会	5名

### （６）備品・設備整備

#### 【介護用品関係・コロナ対策機器】

- ① 低床電動ベット 7台、紫外線殺菌機 1台 他

## ～ 業 務 課 ～

- ① 令和2年度も業務員2名体制で建物、設備等の保守及び補修整備を行った。
- ② 経費削減のため、なるべく自前で補修作業を実施するとともに、増設された南棟敷地も含め施設敷地内の環境整備作業を行った。
- ③ 経費削減のため、空調設備の温度管理や消耗物品等の在庫管理を徹底した。
- ④ 南棟の1年点検結果による手直し工事が新型コロナウイルスの影響により未実施。
- ⑤ 南棟開所後初の積雪シーズン（大雪）をホイールローダの使用により、有効な除雪作業に努めた。

### （1）主な管理整備関係

	項 目	内 容	備 考
1	花壇整備	環境整備として植栽	いちょうの家
2	外周管理	DSC法面の調査、管理	7/28 大雨の対応及び被害の復旧
		芝生の除草、施肥、芝刈り等 こぶしの木剪定	シルバー人材センター
		法面草刈り、水路管理	
		駐車場、避難道路の除雪、維持管理 小型ホイールローダ等除雪機械の管理	
		案内看板の維持管理	
3	建物管理	月次内部定期点検による管理 各部修繕	
4	温水発生器(ボイラー)及び給湯・温水配管類の保守管理	ばい煙測定、アスベスト調査の実施 床下配管の定期点検	平成17年度「車両競技公益資金記念財団」助成事業
5	合併処理槽の保守管理	定期点検、定期清掃 法定・水質検査	既存棟・南棟
6	受水槽の保守管理	定期点検・清掃、法定・水質検査	既存棟・南棟
7	消防設備保守管理	誘導灯、発信機、感知器等の更新 SP用非常発電機負荷運転試験実施	
8	地下油槽保守管理	年1回の漏洩検査を実施 立入検査 9/29 実施	消防法
9	空調・湿度管理	エアコンフィルター管理 加湿器の設置管理 空調設備の制御 西棟マルチエアコンの大規模修理	CO2実績報告(報告最終年度) 弱酸性次亜塩素酸水の活用
10	電気設備定期点検	毎月1回定期点検、年1回総合点検 デマンド管理	
11	業務用洗濯機、乾燥機、汚物除去機の保守管理	消耗部品の交換 高速洗濯脱水機インバーター交換 ガス乾燥機バーナー部清掃	1998年度「国県補助事業」
12	屋上保守管理	春と秋の清掃、管理	
13	水道関係保守管理	水道部品等消耗品の交換	
14	自動ドア保守管理	年2回の保守点検	

15	レジオネラ菌検査	入浴前の浴槽湯を採取（異常なし）	
16	荘内清掃	清掃員による週4日の清掃作業 床洗浄・ワックス作業 業務員による窓ガラス、浴室等の清掃	今年度より既存棟担当と南棟担当の清掃員を区分した
17	公用車の管理	「日本財団」リフトバス2台、 「24時間テレビ」リフトバス、 「日自振」リフトバス、 「競馬財団」スロープ付軽自動車 等公用車の積極的な活用及び管理  デイサービスセンターのリフトバスを1台更新、既存車両をグループホームへ移管した	2003及び2006年度「日本財団」福祉車両助成事業 平成18年度「24時間TV」寄贈 平成19年度日本自転車振興会補助事業 平成25年度中央競馬馬主社会福祉財団助成事業
18	機械浴槽の保守管理	特殊機械浴槽の保守管理 車いす入浴装置の保守管理 南棟入浴機器の給湯温度不具合による調査	2001年度国県補助事業 平成17年度郵政公社年賀寄附金配分事業
19	介護用品等の管理	車いす、電動ベッド等の補修	
20	旧厨房食品庫内の整理	ディスプレイ食器類の備蓄のため、廃棄処分品を撤去	
21	厨房の一部改修	・食器消毒保管庫の設計設置位置と施工位置に違いがあったため修正 ・洗浄室の床排水取付け及び壁面の一部ステンレス張り	

## (2) 防災に関する協定一覧

	名 称	締結日	相手方
1	川樋地区 防災協定書	平成18年12月30日	川樋地区長（こぶし荘防災協力会会長）
2	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 災害時施設相互応援協定	平成20年7月8日	置賜地区老人福祉施設長連絡協議会 会員施設長
3	災害時における福祉避難所の指定及び使用に関する協定書	平成28年2月15日	南陽市長

## 9. こぶし荘ショートステイ

### (1) サービス全般について

ショートステイ（短期入所生活介護）は、地域包括ケアの推進によりその重要性が高まるなか、生活相談員を窓口として多様なニーズ（生活の質の更なる向上や心身の健康維持・活性化、介護者の介護負担軽減、突発的な事情への対応等）と介護支援専門員・ご家族との細やかな連携や調整に心がけた。

また、随時のショートステイ委員会を開催し、リスク検証を行いながら安全・安心な利用を目指した。今後もさらにサービスの充実を図り、利用者・ご家族の笑顔が在宅介護の継続に繋がるよう努めていく。

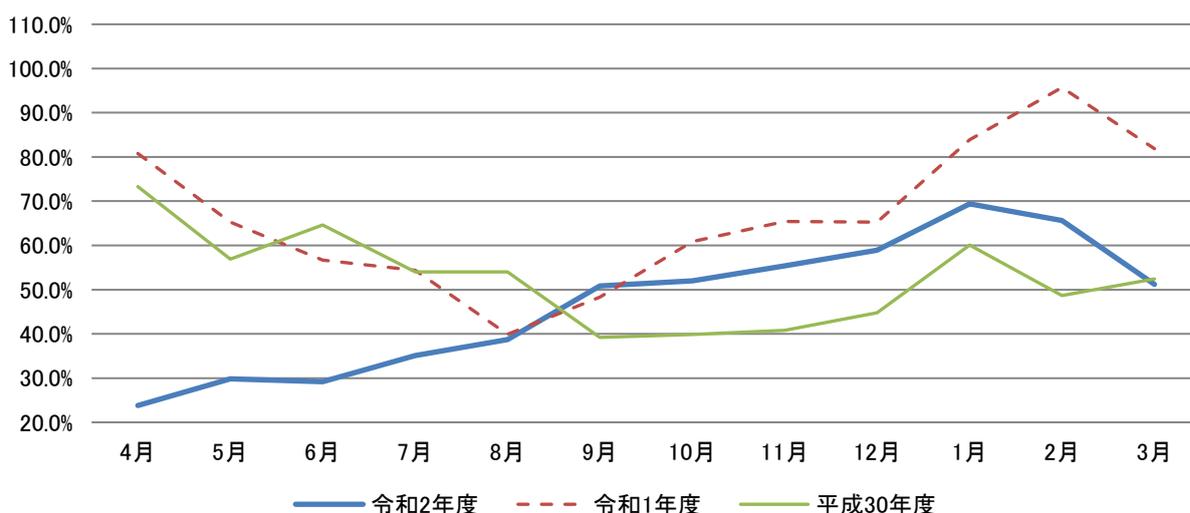
### (2) 利用状況

#### ① 月別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
利用延べ人数	57	74	70	87	96	122	129
稼働率	23.8%	29.8%	29.2%	35.1%	38.7%	50.8%	52.0%
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
利用延べ人数	133	146	172	147	127	1,360人	
稼働率	55.4%	58.9%	69.4%	65.6%	51.2%	46.6%	

	延べ利用者数	月平均	平均稼働率	平均介護度
令和2年度	1,360人	113人	46.6%	2.92
令和元年度	1,848人	154人	65.8%	2.81
平成30年度	1,530人	127.5人	73.8%	3.1

稼働率推移(過去3年分)



年度当初より新型コロナウイルスによる感染状況が深刻化し、近隣においても陽性者が発生した為、4月末から5月にかけての大型連休中のショートステイ事業の休業を余儀なくされた。再開後は同居家族を含めた御利用者の状況を確認し、御利用中は入居者との距離を空けながら感染防止に努めた。

② 要介護度別

実人数

要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
1	0	10	6	10	7	5	39 人

③ 男女別

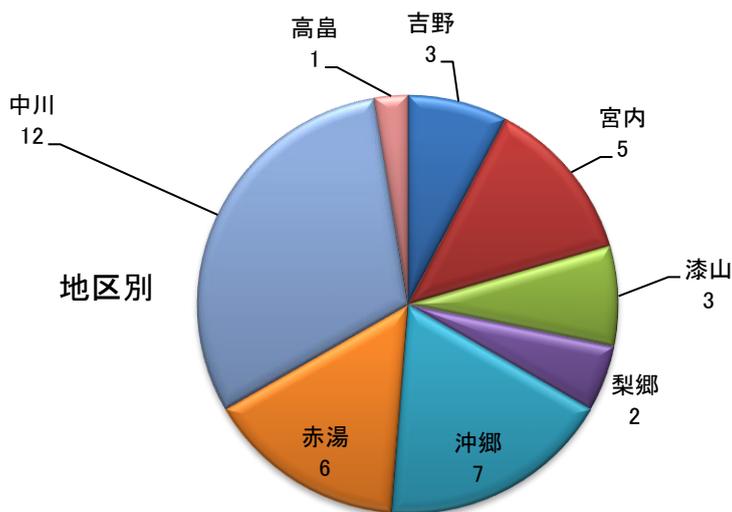
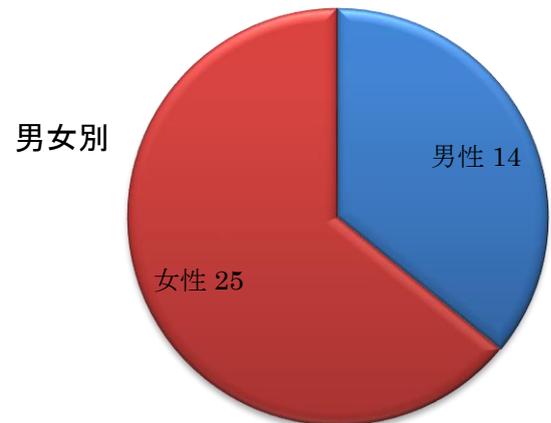
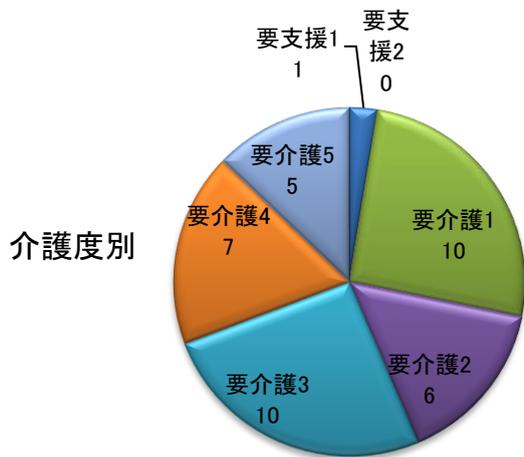
実人数

男性	女性	合計
14 人	25 人	39 人

④ 地区別

実人数

吉野	宮内	漆山	梨郷	沖郷	赤湯	中川	高島	合計
3	5	3	2	7	6	12	1	39



# 10. こぶし荘デイサービスセンター

## (1) 総括

### 1. 利用状況

地域密着型通所介護及び、総合事業の多様な利用形態に対応する為、営業日の調整及び日課の見直しを図るとともに、人員配置減による利用者サービスの低下をきたす事の無いよう、各部署の協力を受け健全経営に努めた。

### 2. 職員体制

職名	現員	備考	職名	現員	備考
管理者	1	兼務	ケアワーカー	1	常勤
事務員	1	兼務	看護師	1	兼務
栄養士	1	兼務	機能訓練指導員	1	兼務
業務員	1	兼務	兼務計	8	
生活相談員	2(1)	常勤(兼務)	専任計	3	
介護福祉士	3(1)	常勤(兼務)	合計	11	

### 3. 職員研修

職場内研修会への積極的参加を図り、職員の資質の向上及び処遇技術の向上に努めた。  
また、防災安全に関しても重点をおき訓練等を実施した。

主な研修会等	参加	人数
◇ RO2年度 県デイサービスセンター部会職員研修会	0	0
◇ 県老協デイサービスセンター部会生活相談員研究会(総会)	0	0
◇ 県老協デイサービスセンター部会生活相談員研究会(定例会)	0	0
◇ 置賜地区デイサービスセンター生活相談員研究会	0	0
◇ 居宅会議	0	0
◇ 運営推進会議	2	4
◇ 地域密着型介護施設集団指導	1	1

※人員体制により、外部研修会への参加(内部会議含む)が出来ませんでした。

## (2) 利用実績

### ① 実人員(性別、利用別)

介護度	要介護					総合事業					計
	1	2	3	4	5	通12	通21	通22	通31	通32	
男性	2	2	5	2	2	0	0	0	0	0	16
女性	14	11	3	2	1	1	1	6	0	0	39
計	16	13	8	4	3	1	1	9	0	0	55

### ② 地区別

地区	吉野	金山	宮内	中川	漆山	赤湯	梨郷	沖郷	施設	市外	その他
男性	0	1	0	11	1	1	0	0	2	0	0
女性	2	1	0	26	1	4	0	0	5	0	0
計	2	2	0	37	2	5	0	0	7	0	0

③ 入浴別

特別浴	介助浴	シャワー浴	入浴なし	その他
12	41	0	2	0

④ 利用状態別

利用中	休止中	入院中	入所	死亡	サービス移行	新規
41	0	0	5	3	6	9

令和2年度の地区別利用者割合（実人員）は地元が67%ほど、次いで施設が13%、赤湯9%、吉野、金山地区が8%となっている。

今年度よりやすらぎ荘の指定管理者となった事から施設からの利用者が増加している。

令和2年度の介護度別利用者割合は要介護1及び要介護2で54%を占めている。

要介護3は全体の15パーセント。要介護4は7%であり、要介護5は5%と少なくなっており、入所指針の変更が影響していると考えられる。

利用状態別割合は、年間を通して76%程の方が継続してご利用されていたが、当年入所、ご逝去による利用終了は昨年より多く14%程となっている。

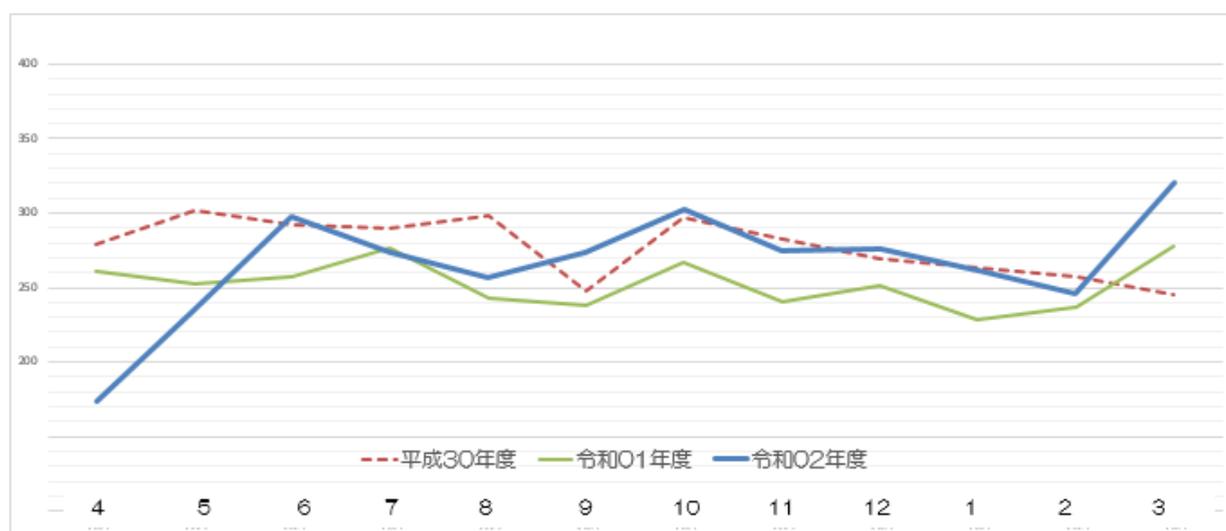
※サービス移行（SS利用、小規模多機能）の方が増えている。

⑤ 月別

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
営業日	21	18	22	20	18	20	22
要介護	137	176	218	211	197	220	247
総合	42	59	79	63	60	54	55
利用者計	179	235	297	274	257	274	302
利用率	52.6%	80.6%	83.3%	80.5%	88.1%	84.6%	84.7%
	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
営業日	19	20	19	18	23	240日	
要介護	227	219	210	199	257	2518人	
総合	48	49	51	46	63	669人	
利用者計	275	268	261	245	320	3187人	
利用率	89.3%	93.1%	95.4%	94.5%	85.9%	84.4%	

※ 要介護における、年間キャンセル率は、11.0%（予定件数2826名：キャンセル310名）

月別・年度別利用状況（過去3年分）



(3) 利用者日課と行事

時 間	利用者の活動	業務内容	人員
08:00		出勤・送迎車点検・除雪（冬季） ミーティング、受け入れ準備	④ ④
08:30	送迎バス出発	乗車介助・宅内介助	④
09:30	送迎バス到着	受け入れ・移動介助・連絡帳確認及び記入・ ミーティング	⑥
09:40	健康チェック	バイタルチェック	
10:00	茶話会 入浴 個別リハ、レクリエーション活動	4名体制＋看護師 入浴介助(介助浴・特別浴) ・ 浴室清掃 ホール対応	⑤ ④ ①
11:30 12:00	入浴終了 昼 食	昼食準備・配膳 食事介助（昼当番）2名（他休憩） 口腔ケア・排泄介助・移動介助	⑤
13:00	休 養	連絡帳、日誌類記入（昼当番休憩）	
13:50	送迎出発（総合事業送り）1台	次回予定説明・送迎介助	①
14:00	健康チェック	健康チェック・排泄介助・水分補給・ レク準備	② ②
14:20	個別リハ、レクリエーション活動	レク・リハビリ活動指導	③
14:50	送迎バス到着（総合事業送り） 手作りおやつ 茶和会・懇談	翌日利用者の確認・連絡・次回予定説明 相談等・記録（データ入力）・送迎準備	④
15:20	帰宅準備	連絡帳配布・排泄介助	④
15:40	送迎バス出発（2～3台）	送迎介助	④
16:50	送迎バス到着	送迎バス到着・清掃 翌日利用者受け入れ準備 ミーティング、記録（データ入力）	④
17:00		退 勤	④

月 別 行 事 実 績			
4月	・桜花見・季節のおやつ作り	10月	・秋祭り（中止） ・災害避難訓練・ビデオ体操
5月	・体力測定・ゆったりティータイム	11月	・室内ゲーム
6月	・災害避難訓練 ・ゆったりティータイム	12月	・クリスマス会 ・季節のおやつ作り ・ゆったりティータイム
7月	・室内ゲーム	1月	・体力測定・室内ゲーム
8月	・ゆったりティータイム・体力測定	2月	・節分豆まき・ゆったりティータイム
9月	・体力測定	3月	・雛祭り会・お彼岸・室内ゲーム

#### (4) 運営推進会議

開催日	出席者		主な内容
	委員	職員	
5月22日	2名	3名	活動状況及び利用者の状況報告
11月27日	2名	3名	活動状況及び利用者の状況報告

#### (5) 非常災害対策

こぶし荘防火管理並びに消防防災計画に基づいて防災関係機関との連携を図り非常災害対策及び訓練を行った。

- ◇ 防火管理者 近野生活相談員 (DSC)
- ◇ 消防防災設備定期点検 3月15～16日
- ◇ 消防防災設備立入検査 置賜広域行政事務組合消防本部 なし
- ◇ 消防防災設備点検届出 置賜広域行政事務組合消防本部 9月分
- ◇ 夜間非常通報訓練 12月6日一斉メール、電話で実施
- ◇ 非常災害対策訓練 総合防災訓練2回

(第1回) 6月24日 通報、避難誘導、初期消火訓練、防災協力会総会  
重点項目： 消火器訓練、救急救命訓練、地震対応

(第2回) 11月11日  
重点項目： 図上訓練  
消防署、地区消防団、北山地区住民、防災設備会社

#### (6) 施設管理、環境整備、その他

- ① プレハブ倉庫の管理～介護用品、季節用品などの整備、保管
- ② リフトバスの更新及び補修整備 (車検整備1台・新規購入1台)
- ③ 床下ピット内排水作業、センター外周側溝清掃
- ④ 給湯用ボイラー、暖房用ボイラーの保守管理、修理
- ⑤ 浄化槽の保守管理 (排水ポンプの管理)
- ⑥ ロータリー整備、植木、花壇の管理
- ⑦ 除雪機の整備及び保守管理、駐機場整備
- ⑧ 特浴槽、利用者用シャワートイレ、トイレ手洗い自動水洗の保守
- ⑨ 入浴用バスタオル、フェイスタオルをリース継続
- ⑩ 感染症対策強化の為、各種備品の購入、消耗品の確保に努めた

## 1 1. こぶし荘在宅介護支援センター

### (1) 総括

介護保険における包括支援システムの構築に伴い、自立支援の観点に基づきながら、ご利用者の心身の状況、環境等に応じた適切な介護保険サービス等が総合的かつ効率的に提供されるよう総合相談窓口としての活動を行った。

今年度のサービス利用実績は、昨年1月ごろからのコロナウィルス感染流行が通年にわたり続いており、感染予防策が頻回に行われたことで、サービスの縮小や中止などの影響が、年度末にやや減少がみられた。

次年度も、コロナウィルス感染予防対策は継続していくと思われるので、2年度の反省を踏まえながら、今の時代の流れに乗った方法で地域との連携を深め、介護保険・在宅介護相談の啓蒙を図り、開催できなかった在宅介護説明会・認知症サポート研修会を「研修・地域連携委員会」と共に開催を目指し、実績回復のための利用者確保に向け取り組む。

### (2) 利用実績

#### ① 在宅支援事業

##### 1) 業務別件数

項目	件数
1. 福祉用具展示	有り
2. 相談延べ人数	2,821人
3. 訪問延べ人数	1,333人
4. 連絡調整	2,275件
5. 手続き代行	13件
6. 通院送迎介助	1件
7. 介護用品斡旋注文	0件

##### 2) 相談内容別件数（延べ）

相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 介護相談	64	66	87	90	57	38	18	15	17	20	16	29	517
2. 健康相談	26	8	20	38	14	11	21	9	11	19	15	15	207
3. 医療相談	36	50	44	38	25	8	15	3	8	4	2	7	240
4. ホームヘルパー	40	40	38	35	24	20	21	17	30	15	21	19	320
5. デイサービス	107	116	82	107	82	72	60	66	68	50	58	64	932
6. ショートステイ	15	29	24	19	11	15	16	22	17	15	15	24	222
7. リハビリ	2	0	0	1	0	0	0	1	0	1	1	1	7
8. デイケア	5	6	4	5	8	4	1	4	2	2	1	1	43
9. 福祉介護用品	45	44	43	72	55	47	40	45	62	40	41	52	586

10. 住宅改修	0	0	0	0	0	2	6	0	1	0	0	0	9
11. 施設入所関係	11	12	35	14	9	3	1	1	2	2	2	1	93
12. 訪問入浴	9	2	2	3	3	2	2	2	5	3	1	2	36
13. 保健福祉関係	4	10	16	13	16	6	1	0	1	0	0	0	67
14. 訪問看護	12	11	8	18	12	11	6	9	9	7	5	10	118
15. その他	0	0	1	5	1	3	6	13	26	10	12	19	96
合 計	1078	1112	1116	1289	944	745	670	638	742	575	593	746	3493

## ② 居宅介護支援事業

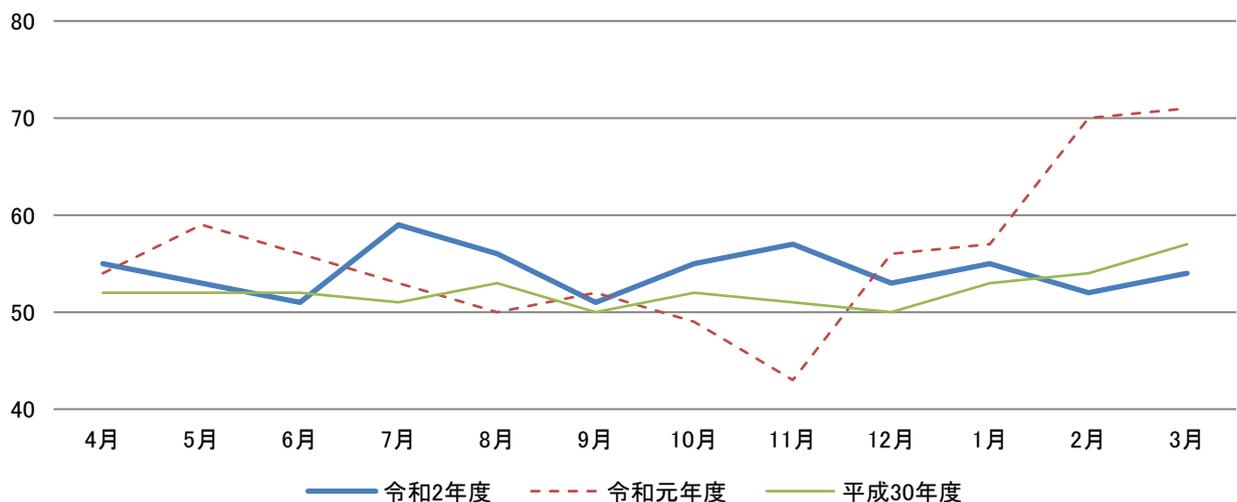
### 1) 居宅介護支援事業

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合 計
認定調査	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給付管理	55	53	51	59	56	51	55	57	53	55	52	54	651
予防給付	17	17	16	18	18	17	18	15	15	15	14	14	194

### 2) 移動件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
1. 新規相談	1	1	1	2	3	1	3	1	0	1	0	2	16
2. 保険外相談	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3. 入所	1	0	0	2	2	2	0	0	1	0	0	0	8
4. 入院	3	0	0	0	1	3	3	3	2	0	0	0	15
5. 死亡	0	0	0	1	1	0	0	2	1	0	0	0	5
ケアマネ依頼	1	1	1	3	3	1	4	1	2	0	0	1	18

月別・年度別稼働率状況（居宅介護支援費＋予防委託）過去3年分



## 12. こぶし荘認知症高齢者グループホーム こぶしの家

### (1) 総括

地域密着型・認知症対応型の施設として利用者の尊厳、主体性、可能性を強く意識しながら、法人の理念にケアの実践を重ねる取り組みができた。本人また、家族の身体的・精神的安定を最優先に、説明と同意の重要性、協力と信頼関係づくりを柱に「もう一つの家」「もう一つの家族」をイメージしたユニットケアを心がけた。

その中でも、市オレンジカフェ連絡会、市キャラバンメイト連絡会に毎回出席して行政や市内事業所との連携協働を行った。オレンジカフェについては、新型コロナウイルス感染症の影響もあり開催することが出来なかったが、サポーター養成講座は、感染対策を行いながら実施出来た。また、入居者の外出機会と趣味活動、人となりを理解し得意分野を活かした取り組みと認知症介護研究・研修センターアセスメントシート（センター方式）の活用を継続して行っており利用者主体の生活に結びついている。健康管理は職員による日頃の健康チェックまた、法人内や通院をはじめとする様々な医療連携、口腔衛生の重要性に基づく歯科医・歯科衛生士との連携・協働とケアの実践は継続して行っており利用者の健康管理に不可欠となっている。

新型コロナウイルス感染症対策を重要視しながら、四季折々に市民と様々な交流の機会を設けることや職員の認知症ケアに関するスキルアップは今後も継続して実践していきたい。

### (2) 利用者の状況

#### ① 月別・介護度別

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
要介護1	26	14	17	31	31	30	31
要介護2	107	93	90	108	124	77	85
要介護3	118	124	120	124	115	120	124
要介護4							
要介護5							
利用者計	251	231	227	263	270	227	240
利用率	93.0%	82.8%	84.1%	94.3%	96.8%	84.1%	86.0%
入院・外泊	19	48	43	16	9	43	39
区分	11月	12月	1月	2月	3月	合計	
要介護1	30					210	
要介護2	90	124	124	112	93	1,227	
要介護3	147	155	155	140	155	1,597	
要介護4					31	31	
要介護5							
利用者計	267	279	279	252	279	3,065	
利用率	98.9%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	93.3%	
入院・外泊	3	0	0	0	0	220	

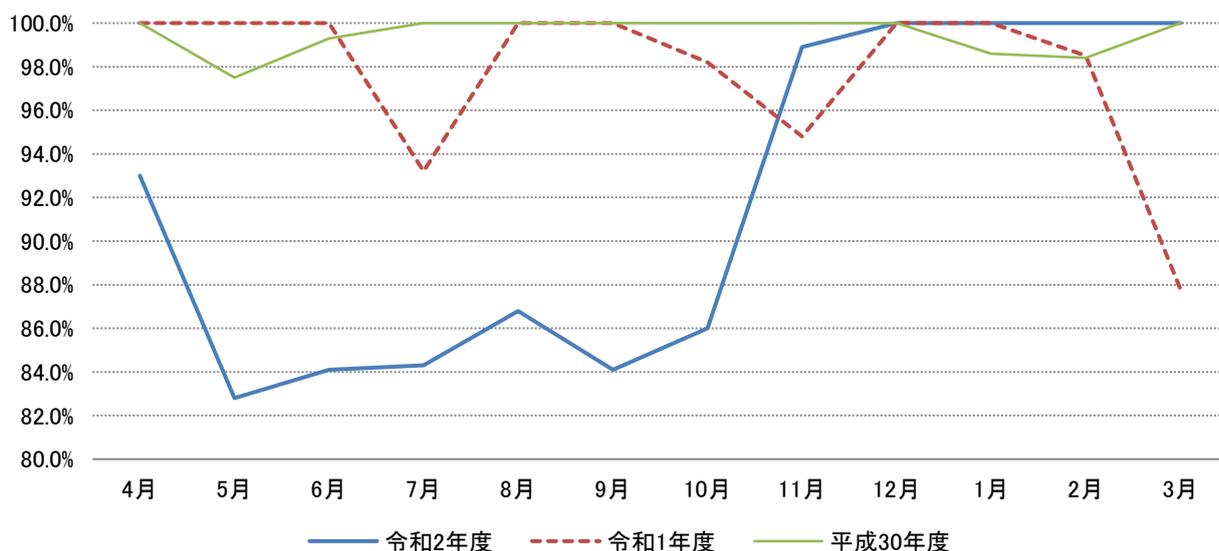
## ② 年齢別

区分	～60歳台	70歳台	80歳台	90歳台	100歳以上	平均
男性	0	0	3	1	0	87.70
女性	0	0	3	2	0	90.20
計	0	0	6	3	0	89.10

## ③ 入退所の状況

区分	退所者				入所者
	死亡	長期入院	その他	計	南陽市
男性	1	1	0	2	2
女性	0	1	1	2	1
計	1	2	1	4	3

月別・年度別稼働率状況(過去3年分)



平均介護度は2.5(昨年度2.4)で、重度化する高齢者へのケアが課題とされる。入院等による空きベッドは、220日(昨年度69日)と昨年度を大きく上回り、最終利用率は93.3%で過去最低の利用率となった。

## (3) 利用者サービスと日課

利用者の生活は、様々なアセスメントの機会から把握した「人となり」に寄り添うことで繋がっていく。職員のこだわりは、「利用者のペース」と「どう暮らしたいか」の思いの察知にある。認知症ケアは尊厳のケアであることと、職員が意識化すべきことは利用者主体の理念であるとして1年間実践してきた。家族、地域、医療、行政等様々な機関との連携が、安心して地域で暮らせる力となっているという実感がある。地域行事への積極的参加や趣味活動、得意分野を活かした取り組みは、利用者の笑顔からその答えを頂いている。今後も利用者主体のゆったりとした時間、行事やレク、季節感のある食事や外出の機会など楽しみを見つめられるサポート役を担っていきたい。

一日の流れ（日課表）	
6：00	起床、洗面、着衣交換
7：00	朝食準備、加湿器水補給（使用期間）、清掃
7：30	朝食、後片付け、健康管理チェック
9：00	清掃、洗濯物畳み（前日の午後～就寝前の物）、洗濯（起床～朝食時の物）
10：00	お茶、レクリエーション 等
10：30	入浴、昼食準備
11：00	昼食準備
12：00	昼食、後片付け、洗濯物畳み（起床～朝食時の物）、洗濯（午前中の物）
13：30	休憩、トイレ清掃
14：30	レクリエーション、お茶、健康管理チェック、入浴 等
16：00	夕食準備、洗濯物畳み（午前中～昼食時の物）
17：00	夕食、後片付け、ゴミ収集、洗濯（午後～夕食時の物）
19：00	だんらん、トイレ清掃
19：30	就寝準備
20：00	就 寝

#### （４）主な地域交流・家族交流

月 日	地域交流・家族交流
10月13日	こぶし荘秋祭り
11月 3日	中川地区文化祭（作品出店のみ）中川公民館

\*新型コロナウイルス感染拡大のため、地域行事には参加出来なかった。

#### （５）運営推進会議

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準に基づいて2ヶ月に1回、計6回開催した。本人と家族の思い、市民の思いに寄り添うことを大切にし、当事者感覚でのケアの追求と運営を意識しながら実践することにより、更に質の高い介護を目指すことを目的とした。

開催日	出席者		主な内容
	外部委員	職員	
5月22日	3	3	入居者状況、2年度委員・細則、事業計画 他
7月17日	3	3	入居者状況、家族交流・地域交流 防災訓練 他
9月18日	2	2	入居者状況、敬老会、利用料金の変更、研修 他
11月27日	3	3	入居者状況、秋祭り中止、防災ネットワーク 他
1月22日	3	3	入居者状況、感染症対策、 外部評価について他
3月26日	中止	中止	入居者状況、感染症対策、外部評価報告 他

※建物や設備、電化製品や機器の交換・修繕について、また職員の研修受講に関してや外部の会議・研修会等への派遣状況についても、毎回の議題の中に採り入れた。

※3月26日の委員会は、新型コロナ感染拡大のため中止となる。（資料は、各委員に配布済）

## (6) 防災訓練

日常の防火防災に努めるとともに、災害時には特別養護老人ホームこぶし荘職員と一致協力して災害に対応するよう訓練を行った。

- ・ 6月24日 第1回総合防災訓練
- ・ 11月11日 第2回総合防災訓練（図上訓練）
- ・ 11月24日 非常通報訓練

## (7) 建物・設備管理

・電気点検	4月20日
・加湿器掃除、片付け	5月16日～20日
・トイレと汚物除去室 排水口清掃	5月28日
・センサーマット修理	6月15日
・ホール用カーテン洗濯	6月21日
・全館ワックス清掃	8月28日
・衣類乾燥機修理	8月30日
・窓枠下化粧板修繕工事	8月31日
・加湿空気清浄機設置	9月10日
・ホールカーテン洗浄	2月27日
・除菌バスター1台購入	2月28日
・センサーマット1式購入	3月12日
・洗濯室換気扇交換工事	1月20日
・消防設備点検	3月15日

※エアコンフィルター清掃、加湿器清掃は随時

## (8) 外部評価

介護保険法が定める「指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準」に基づき、理念の実践や介護サービスと職員の資質向上を目的として外部評価を実施した。

- ・評価機関名：協同組合 オール・イン・ワン
- ・訪問調査実施日：令和3年3月5日
- ・評価結果決定日：令和3年3月11日

※WAM NETでの公表は、令和3年3月30日より掲載

### 13. 養護老人ホーム南陽やすらぎ荘

#### (1) 総括

令和2年4月1日から当法人の運営となり、職員24名（内2名置広派遣）、入所者66名で業務を開始しました。

2年度は新型コロナウイルス感染防止に係る様々な業務及び物品購入がありました。管理業務については、施設の老朽化に伴う維持修繕を中心に各種修繕と保守管理業務等を実施しました。処遇業務の内、入所者に関する各種行事等については新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの事業が縮小あるいは中止となりましたが、創意工夫をしながら入所者の処遇に努めました。

事業の概要及び入所者状況は以下のとおりです。

#### (2) 各種行事及び管理業務の状況

区分	行事等の実施状況	修繕状況	保守点検状況
4月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・親睦会総会</li> <li>・職員全体会議</li> <li>・花見</li> <li>・屋外大掃除</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水道蛇口修繕</li> <li>・配管詰まり除去</li> <li>・マーチ車検時整備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・浄化槽清掃</li> <li>・公用車車検</li> </ul>
5月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防火扉開閉訓練</li> <li>・避難訓練</li> <li>・非常放送設備の機器操作訓練、消火器操作訓練</li> <li>・花苗植樹</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・給水管漏水修繕</li> <li>・電気消毒器修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・廃棄物収集運搬</li> <li>・電気設備点検</li> </ul>
6月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・観音様周辺除草</li> <li>・焼香式</li> <li>・施設敷地内の草刈り</li> <li>・観音様祭礼</li> <li>・お楽しみ会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ファンスイッチ交換</li> <li>・電気消毒器修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気消毒器点検</li> <li>・EV保守点検</li> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・消防用設備保守点検</li> <li>・LPガス設備点検</li> <li>・厨房内清掃</li> </ul>
7月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・健康診断(入所者)</li> <li>・出前体験</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・模擬喫茶</li> <li>・映写会</li> <li>・カラオケ愛好会</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水管の交換</li> <li>・電話機及び電話線修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自家発電設備保守点検</li> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・給湯器点検</li> <li>・電気設備点検</li> <li>・厨房内害虫駆除</li> <li>・廃棄物収集運搬</li> <li>・消防設備点検</li> </ul>
8月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・納涼会</li> <li>・お盆供養</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・夜間避難訓練</li> <li>・施設敷地内の草刈り</li> <li>・床ワックス塗布</li> <li>・ガラス清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・エアコン移設工事</li> <li>・消防設備(誘導灯)修繕工事</li> <li>・貯水槽ボールタップ取替</li> <li>・給湯器交換</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・防火設備点検</li> <li>・EV保守点検、定期検査</li> </ul>

区分	行事等の実施状況	修繕状況	保守点検状況
9月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・床ワックス塗布</li> <li>・焼香式</li> <li>・敬老会</li> <li>・健康体操</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・彼岸供養</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・郵便ポスト塗装</li> <li>・電話機修繕</li> <li>・センサーライト取付</li> <li>・EV機能維持修繕</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・廃棄物収集運搬</li> <li>・EV保守点検</li> <li>・浄化槽法第11条法定検査</li> <li>・停電点検</li> <li>・電気設備点検</li> </ul>
10月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬喫茶</li> <li>・防災訓練(地震)</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・芋煮会</li> <li>・インフルエンザ予防接種</li> <li>・健康体操</li> <li>・秋の屋外大清掃</li> <li>・グランドゴルフ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・蓄熱暖房機点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・電気設備点検</li> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・浄化槽清掃</li> <li>・除雪機点検</li> </ul>
11月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・受水槽清掃 及び水質検査業務</li> <li>・雪囲い</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・施設長と語る会</li> <li>・映写会</li> <li>・健康体操</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・配管設備点検</li> <li>・FFヒーター修繕</li> <li>・スタッドレスタイヤ購入</li> <li>・換気扇点検</li> <li>・給水管点検、修繕</li> <li>・電気消毒器修繕</li> <li>・大型テレビ点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・廃棄物収集運搬</li> <li>・電気設備点検</li> <li>・ボイラー定期点検</li> </ul>
12月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・除雪協力者打合せ会</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・荘内忘年会</li> <li>・輪投げ大会</li> <li>・健康体操</li> <li>・模擬喫茶</li> <li>・浴室清掃</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事務イス購入</li> <li>・液晶テレビ購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・EV保守点検</li> <li>・自家発電設備保守点検</li> </ul>
1月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設長年頭の挨拶</li> <li>・鏡開き</li> <li>・小正月団子木飾り</li> <li>・荘内新年会</li> <li>・干し芋と甘酒の提供</li> <li>・不在者投票</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬注配管修繕</li> <li>・ウォームレット更新工事</li> <li>・ホットキャビ購入</li> <li>・職員駐車場道路側外灯水銀ランプ交換工事</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・消防用設備保守点検業務</li> <li>・電気設備点検</li> <li>・廃棄物収集運搬</li> </ul>
2月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・映写会</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・腸内病原菌検査</li> <li>・健康体操</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ペーパーホルダー取付作業</li> <li>・浄化槽導入管詰まりなおし</li> <li>・全自動洗濯機購入</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・レジオネラ大腸菌検査業務</li> <li>・厨房微生物検査</li> </ul>
3月	<ul style="list-style-type: none"> <li>・模擬喫茶</li> <li>・焼香式</li> <li>・映写会</li> <li>・彼岸供養</li> <li>・お楽しみ会</li> <li>・除雪協力者反省会</li> <li>・健康体操</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・静音樹脂台車購入</li> <li>・貯湯式湯沸器点検</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・浄化槽保守点検</li> <li>・EV保守点検</li> <li>・電気設備点検</li> <li>・廃棄物収集運搬</li> </ul>

(3) 入所、退所の状況

区分	月初日の 入所者数	入所件数	退所件数	備 考
4月	66	0	0	
5月	66	0	2	内1人は死去
6月	64	0	0	
7月	65	1	0	
8月	65	0	2	内1人は死去
9月	63	0	1	
10月	62	1	0	
11月	63	1	2	
12月	62	0	0	
1月	62	0	1	
2月	61	0	0	
3月	61	0	1	死去による退所
合計	760	3	9	

(4) 文書の情報公開についての実施状況

なし

(5) 職員研修等状況

① 職場内研修

開催日	研 修 内 容	参加者数
R2. 4. 11	令和2年度事業計画及び非常時対応マニュアルについて (講師：高橋施設長)	全職員
R2. 10. 12, 16	DVD研修「コロナ禍からのメッセージ」 (講師：大蔵村診療所 医科医長 深瀬 龍 氏)	全職員
R2. 10. 26, 30	防護具の着脱方法について (講師：松田支援員)	全職員
R3. 1	新型コロナウイルス感染対策シミュレーション (3回) (講師：高橋業務係長)	全職員

② 外部研修

開催日	研 修 内 容	出席者
R2. 8. 25	高齢者福祉種別新任職員研修 (1回目)	相談員
R2. 9. 11	高齢者福祉施設新任職員研修 (2回目)	相談員
開催日	研 修 内 容	出席者
R2. 9. 18	山形県老人福祉施設協議会理事会	施設長
R2. 9. 18	社会福祉専門講座「身体拘束・虐待ゼロ宣言」	支援員
R2. 9. 25	人材定着支援研修	主任支援員
R2. 9. 29	認知症利用者に対する支援の方法	支援員
R2. 10. 1	介護現場でのハラスメントへの対応	主任生活相談員
R2. 10. 8	苦情解決のための事例検討会	支援員

R2. 10. 14	社会福祉施設防火担当者研修	事務員
R2. 10. 21	社会福祉施設におけるリスクマネジメント	支援員
R3. 1. 14	普通救命講習	相談員

#### (6) 監査等

項 目	実施機関	実施日	主な内容
社会福祉法人・施設指導監査	山形県	R2. 11. 11	<ul style="list-style-type: none"> <li>・南陽病院が協力病院であることが明記された書類がないので確認の上、対処されたい。</li> <li>・身体拘束について、指針に沿って3か月に1回の会議を開催すること。</li> <li>・事故発生時に医療行為があった場合は県に報告すること。</li> </ul> <p style="text-align: center;">以上のことについて適正に対処する旨回答し、早急に改善した。</p>
監事監査（事業・会計監査）	監 事	R3. 6. 4	指摘事項： 特になし

#### (7) 来年度の主な事業等

令和4年4月に新施設での運営が開始されることから、職員及び勤務体制、4ユニット型での処遇方針、各課の業務検討などを行い、置賜広域行政事務組合と連携しながらスムーズな移行に努めることといたします。

また、現施設での最終年度でもあることから、維持補修を行いながら安心安全な施設運営を図ってまいります。



★★ 令和2年度事業報告書 ★★

法人名： 社会福祉法人南陽恵和会  
理事長 遠藤 東一郎

所在地： 山形県南陽市川樋508番地

電話： 0238(49)2800

FAX： 0238(49)2802

メール： [kobushi@bz01.plala.or.jp](mailto:kobushi@bz01.plala.or.jp)

URL： <http://kobushiso.jp/>